

第2回議会モニター会議の意見の取扱いについて

【総務経済常任委員会】

項目	意見	対応
まちなか再生事業	<p>○本町でもパーク PFI が進んでいるが、町民と事業者との関係性構築が事業推進には重要だと視察報告を聞いて思った。</p> <p>○「まちなか再生」と言われているが、空き店舗は依然として残っており、どのような姿を目指して再生を進めているのか、その具体的なイメージが見えにくい。</p> <p>→ (回答) : 新しい店舗の出店も見られるものの、既存店舗は老朽化が進み、店舗と住宅が一体となっているケースも多い。そのため、店舗を閉めても住宅として居住が続く状況にあり、土地利用の更新が進みにくい。こうした状況を抜本的に変えるには、土地区画整理事業の実施が効果的と考えられるが、町としては現時点で実施の考えを持っていない。</p> <p>○福祉事業者が参入しやすいように空き店舗情報をわかりやすく発信してほしい。</p> <p>→ (回答) : まちなかのにぎわいを創出するためには、経済効果を目的とした店舗の誘致だけでなく、福祉事業所など多様な機能が入ることで、新たな人の流れが生まれる可能性がある。</p> <p>○まちなかの店舗の老朽化が進む中、現在の中心市街地にこだわらず、場所を移して新たにまちを形成する発想がなければ、にぎわいの再生は難しい</p> <p>→ (回答) : 帯広市と芽室町の境界は都市計画上で明確に区分されており、芽室町は帯広市と住宅地や商業施設が連続するようなまちづくりの計画になっていない。</p> <p>○2020年に芽室へ移住。かつての賑わいを取り戻すとの説明があったが、かつての「賑わい」がわからない。</p> <p>→ (回答) : 駅前を中心に商店が集まり、経済活動だけでなく福祉的な機能も含めたイベントなどが行われることで、</p>	<p>意見として伺いします。</p> <p>回答済み</p> <p>回答済み</p> <p>回答済み</p> <p>左記のとおり回答します。</p>

	<p>地域のつながりが育まれてきた。こうした中で、商店街の近代化などの取組を重ね、継続的なぎわいが生まれていた。</p> <p>○中高生が集える場所が必要。習志野市の「まちづくり会議」の様に色々な方々が参加し、協働のまちづくりを進めすることが大切と思う。</p> <p>○様々な活動をしている芽室町と思うが、新たな店舗、空き店舗の活用による活性化策が重要。 → (回答) 志木市のまちなか再生（企業支援）、いろは親水公園、芽室町においても空き店舗について調査の段階、本町における Park-PFI について（公園からまちなか）等について説明。</p> <p>○まちづくりを考える時、周辺自治体の状況も考慮する必要がある。 (志木市の隣町は？習志野市の隣町は？)</p> <p>○特色を生かしたまちづくりが重要。色々な方々の意見を聞く会議体の設置。 (特急が止まる町、農業の町など)</p>	<p>意見として伺います。</p> <p>回答済み</p> <p>意見として伺います。</p> <p>意見として伺います。</p>
協働のまちづくり支援事業	<p>○地域とのつながりを持ちたいとの思いから、法人として町内会への加入を申し込んだが、前例がないことを理由に受け入れられなかった。</p> <p>○移住者であるため、地域住民同士の関係性を十分に理解することが難しく、地域の人々と直接会う機会も多くない。</p> <p>○町内会加入者が少なく、役員のなり手にも苦労している。いずれ町内会も限界にくるのではないかと思っている。</p>	<p>意見として伺います。</p> <p>意見として伺います。</p> <p>意見として伺います。</p>

	<p>○コミュニティの必要性が理解できない。</p> <p>→ (回答) : ひとりでは解決できない課題を地域全体で解決することによって、自分たちの暮らす地域をより住みやすくしていくことが、コミュニティの基本的な考え方である。習志野市の地域担当職員制度は、こうした自治活動をまちづくりの仕組みとして位置づけ、行政が制度的に支えている点が特徴的であり、成果を上げている好事例であった。</p> <p>○町内会地区協議会に参加しているが、役員になる人は限られている。総会に出席したら、役員になる現状。</p> <p>○町内会に参加するという意欲の欠如、魅力が伝わる仕組みづくりが大切。</p>	回答済み
		意見として伺います。
		意見として伺います。

【厚生文教常任委員会】

項目	意見	対応
公立芽室病院	<p>○リハビリ事業を実施しているが、町民のニーズを十分に把握しているのか疑問がある。院内でのリハビリを重視するのか、訪問リハビリの充実を目指すのか、目的や方向性が明確でない。</p> <p>○待ち時間が長いのではないかと思い、公立病院に行ったことがない。</p> <p>○総合病院であるため、帯広まで出向かなくても医療を受けられ、利便性が高い。</p> <p>○コミュニケーションがはかれる場所であってほしい。</p> <p>○住民ニーズの把握が必要。</p>	<p>委員会が視察した山形県高畠病院では高齢化社会を見据え、高齢者の生活機能の維持を目的にしたリハビリ機能の充実を図っています。</p> <p>芽室病院でもその取組を参考にリハビリ機能強化を実践し、ニーズが多い訪問リハビリの充実を図ろうとしていますが必要な人員確保等が課題となっており、今後も推移を注視する必要があると考えています。</p> <p>「利用しやすい病院かどうか」という視点は今後の調査の参考にします。</p> <p>「住民にとって必要な病院機能」を考える際の参考にします。</p> <p>芽室病院は病院祭りや出前講座など「地域に開かれた病院」であるための取組を実践していますが「地域に開かれた病院」という視点は今後の調査の参考にします。</p> <p>委員会でも「地域に求められる公立芽室病院」の</p>

		<p>あり方を見極めることが持続可能な病院経営につながるとして、調査に臨んでいます。</p>
	○予防対策およびリハビリ機能の充実。	<p>治療以外にも「予防」という病院機能は重要な視点であるとして今後の参考にします。</p>
	○生活習慣病など年齢層に適したニーズ把握。	<p>閉鎖中の病棟利活用の可能性を探る際の参考にします。</p>
	○遠隔治療の推進。地域にとって必要な病院。 ○気軽に受診できる病院。オンライン診療の充実。	<p>農村地域と病院を結ぶオンライン診療の実証実験をこれまで実施していますが、今後求められる病院機能の一つとして取組の推移を注視していきます。</p>
	○公立芽室病院があることも芽室へ移住した大きな条件だった。	<p>「住民にとって必要な病院機能」を考える際の参考にします。</p>
	○病院の件は知識がなく難しいですが、病院がなければ人口減は加速しますよね。やはり、緊急でも診てくれる病院がないれば、不安は大きいです。過去に、田舎に住んでいる親類が、適切な処置を受けていれば亡くならずに済んだのでは?と思うこともあったので	<p>「住民にとって必要な病院機能」を考える際の参考にします。</p>
	○公立芽室病院について。この規模の自治体に公立の総合病院があることは、とてもいいと思いますが、現在の診療形態を考えると必ずしも公立でなくてもよいのではないかと思います。公共サービスという観点を考えると必要な側面もよく理解できますが、財政の面から考えると、率直に本当に必要	<p>近隣の帯広市に大規模な病院がある（医療資源には比較的恵まれている） 芽室町に必要な病院機能を探ることが重要として</p>

な公共財なのかと思う部分もあります。確かに公立だからこそ、これだけ充実した医療機関があることは重々承知できます。しかし、赤字経営が続いている以上は、何らかの形で規模の縮小(診療科の削減など)を検討していかなければならぬと思います。診療科の統合(総合診療科を核として、他科を廃止するなど)を考えたり、公益財団法人や医療法人として、自治体から独立させた立場から医療を展開していくことによって、質の高い医療を展開できると考えます。これは、帯広に近い自治体だからこそできるのではないかと考えます。総合診療科・整形外科・訪問看護・リハビリテーション科など精選した形で運営していくことが、公立として安定した医療サービス提供によいのではないかと思います。まず最初の段階で地域から頼られる病院。そして長期的に医療を受けなければならない時の病院として存在してもらえたならありがとうございます。

今年度、委員会調査に望んでいます。8月に視察した高畠病院でも近隣の大規模病院との役割分担を明確にしながら、住民に必要とされる病院の役割を担っていました。茅室病院は「経営強化プラン」を策定し、その中には「公営企業法の全部適用」を目指すことも掲げていますが(現在は一部適用)、病院の経営形態の在り方も含め、持続可能な病院経営強化策を探る中で、いただいた意見を参考にします。

茅室町議会「議会報告と町民との意見交換会」の意見・提案・要望等の取り扱いフロー

